

第3期静岡ろうきん中期計画『真価』

～働く人とその家族の“笑顔”のために、会員とスクラムを組んで『真価』を発揮する3ヵ年～

■基本戦略 働く人にもっとも身近で信頼される福祉金融機関を目指して

「ろうきんの理念」の実践につながる深化・進化による『真価』の発揮

I ろうきん運動の深化

●運営委員は

- ・ろうきん運動推進の中心的役割を担い、ろうきん運動を通じて勤労者福祉強化に取組みます。
- ・運営委員会の主体的な活動により営業区域の会員構成員の利用度向上に取組みます。
- ・「TRY」総括から認識した課題の克服に向け、営業店と一体となって取組みます。

●会員役員は

- ・〈ろうきん〉の商品・サービスを基本に「福利共済活動」を構築します。
- ・世話役活動の実践により会員構成員の一生に亘るライフプランを支援します。
- ・運営委員会、〈ろうきん〉とスクラムを組んで勤労者福祉強化に取組みます。

『会員』は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。

II ろうきん利用の深化

●ろうきん役職員は

- ・持続可能な顧客基盤の構築に向け、運営委員、会員役員との信頼関係の下、職域におけるろうきんファン拡大に取組みます。
- ・地域・家庭におけるろうきん利用推進とともに、ライフステージに沿った商品・サービスを拡充し、一生に亘る取引を形成します。
- ・福祉事業団体役職員等と協働し、県内で働く人の利用を促進するとともに、非営利・協同セクターで働く人との関係づくりを強化します。
- ・働く人の生活を守るため、家計見直し運動等を通じて可処分所得向上を目指します。

『ろうきん』は、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。

真 価
「ろうきんの理念」
の実践

『ろうきん』は、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。

III 営業力・生産性の進化

- 運営委員や会員役員、書記担当者との共通認識の下、事務量削減に向けて前例にとられない見直しを進め、事務の迅速性・堅確性を高めるとともに営業力のさらなる強化を図ります。
- 営業、事務、働き方を一体で捉えて業務を再構築し、生産性をさらに高めます。
- 提供する金融サービスの発展・向上に向け、業態IT戦略を補完する静岡ろうきん版IT戦略を策定し、IT統制に向けた組織態勢を整備します。
- ITやネットワーク技術等の進展に対応し、営業力向上を図るとともに巧妙化するサイバー攻撃への対策を継続します。

『ろうきん』は、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。

IV 職員力の進化

- お客様本位の業務運営をさらに追求し、思いやりや気遣い溢れる応対等を通じてお客様との「共通価値」を創造します。
- 「福祉金融プロフェッショナル」の育成を継続し、自立と相互協力により、会員・働く人の負託に応えます。
- コミュニケーションの充実を図り、各職員が最大限のパフォーマンスを発揮できる環境を整備します。
- 働き方等に係る各種法令への対応を進め、すべての職員が健康で活き活きと活躍できる健康経営に徹します。

『ろうきん』は、誠実・公正および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

V 基本戦略を支える経営基盤の進化

- 収支改善およびコスト削減等、収益基盤の強化に向け、営業店・本部が一丸となって抜本的な対策を進めます。
- リスク管理の高度化を進め、事業基盤の強化に必要なリスクを受容します。
- 経営資源の有効活用資する店舗・チャネル戦略および人員配置計画を立案・実行します。
- 事業運営原則の遵守、コンプライアンス経営の実践、内部管理態勢の強化を金庫経営の基本に、運動と事業の持続的な発展に努めます。